

6 政宗記 卷一大内暇給事

《(上略)されば政宗、同(天正13年5月)三日に会津より田舎道六十里北、^(きて)扱米沢よりも同十里なる、会津領の境桧原と云処へ馬を出されければ、即時に桧原は手に入れれども、今度は先会津への初の手切なれば、密のため米沢の軍兵迄にて出給ふに、左馬介敗軍なりと聞き、五月五日に惣軍を桧原へ参れと触給ひ、諸勢参るを待給へば、其間に会津の人数は大塩へ楯籠り、城は堅固に相抱へけり。伊達勢も同八日に、大塩の上の山まで動きけれども、山中にて道一筋なれば、^(そなえ)備を立べき地形なし、大山隔て後陣は桧原を引離れざれば、合戦には及ばず、近々と働き引上、先小身者をば返し給ひて、御身は桧原におはします事、《『政宗記』巻一は「寛永十三年丙子六月吉日」(1636)と奥書されるが、この書物全体は少なくとも元禄16年(1703)には成立している。小林清治校注『伊達史料集(上)』から抄録》

7 芦名家記 卷第一米沢正宗桧原越より会津^江働之事

去程に伊達正宗は芦名家へ遺恨の事有て、桧原を正宗より攻給へとて、穴沢善右衛門尉つなぎ峠に物見を差置、正宗寄給へハ見下しに鉄炮を打せ用心きびしく仕りし故、左右なく正宗桧原を攻取り給ふ事不叶、然る処に穴沢一党のうちに遠藤武蔵と云者芦名へ謀反に依て、穴沢一党の者を風呂の内にて焼殺しける、穴沢善右衛門・同親右衛門はかり大塩へ引取り、三瓶大蔵を頼ミ是と一所に有て、右の条々を黒川へ注進申上けれハ、執権衆より⁽⁴⁾羽黒川より其口堅く相守へしとの上意をかふむりて、則三瓶大蔵・穴沢兄弟大塩に勢ともを揃て堅く守りけり、黒川より猪苗代盛国へも使者を立られ、頃日正宗桧原へ寄来るよし桧原より注進あり、其口慥に相守らるへしとの上意にて、早速猪苗代勢を集め置、并に桧原口をも堅く守りけり、斯て伊達正宗ハ桧原を攻取て移り給ひ、向ひ城を築き、要害堅固にして住宅せしめ玉ふ、《『芦名家記』は国立公文書館内閣文庫の所蔵。徳川家から献本されたものである。『群書類従』第21輯にも収録されるが、前者は平仮名交じり文、後者は片仮名交じり文である。著者、成立年ともに未詳。参考として収載する》

8 貞山公治家記録 天正13年5月8日条

八日戌寅、大塩ノ上ノ山マテ御馬ヲ出サル、山下ニ敵城アリ、身方備ヲ立ヘキ地ナシ、大山ニシテ細道タ、一筋ナレハ、大勢ハ進ミ得ス、後陣ノ勢ハイマタ桧原ヲ出離レス、此故ニ只御一線有り、小身ノ輩ハ不^レ残皆大塩城ニ返サレ、公ハ桧原ニ財陣シ賜フ、《「貞山公治家記録」は仙台藩藩祖政宗の父輝宗に始まり最後の藩主慶邦に終わる伊達氏歴代の正史『伊達治家記録』の政宗代の部分である。元禄16年(1703)の完成》

9 会津要害録

桧原ノ壘

大峠ヨリ此方ノ峯ニアリ、天正十三年五月十一日伊達左京大夫正宗大塩ヲ襲ントメ桧原坂ヲ下リテ、先手已ニ鹿垣・長原ノ辺マテ進ム、折シモ五月雨頻リナレハ、不叶メ桧原迄引レタル処ニ、昨日扱手トメ田付ヘ向ヘタル原田左馬・新田常陸カ散々ニ敗軍シテ長井ヘ引返シタル由、急ヲ告レハ、イタツラニ此峯ニ要害ヲ構ヘ五十余日対陣セラルハ、会津ハ太守亀王丸漸クニ才ナレハ、四天王ノ富田・平田等塩川ヘ出張メ弓断ナク下知ス、又桧原ニ居タル武士モ皆大塩ヘ集テ固ク柏木森ヲ守レハ、

正宗モ襲来ン便テ尽テ、要害ノ成就スルヲ幸ニメ、郎等後嶋孫兵衛ヲ残置テ同六月ノ末米沢ヘ帰陣也、

10 新編会津風土記

古蹟

柏木城跡 村南五町山上ニアリ、東西百二十五間・南北三十五間、南ノ麓ニ長九十間・幅四間ノ馬場跡アリ、其南ニ東西百三十間余、南北二十五間ニ空壕アリ、本丸二三ノ丸ノ形堀切ノ跡残レリ、天正十二年葦名義広コレヲ築キ、三瓶大蔵ヲ城番トシテ此辺ノ武士百五十騎ヲソヘ米沢ノ押ヘトシ、檜原村ノ繫トセシ所ナリ、今ハ皆田圃トナル、《「新編会津風土記」は文化6年(1809)に完成した会津藩の地誌で、寛文6年(1666)成立の「会津風土記」を補正しつつさらに詳述したものである。会津若松市立会津図書館の写本による》

11 会津四家合考 卷之三摺上ノ原軍ノ事

《(上略)河原田治部少輔盛次ハ、内々桧原口ノ用心ニ、大塩ヘ向テ居ケルニ、此ヘハ敵一人モ不来、殊ニ政宗、猪苗代迄乱レ入ラレタル沙汰ヲ聞テ、則大塩ヲ打立、摺上ヘ駆向ケルカ、(下略)《会津若松市立会津図書館蔵写本による》

12 伊達家日記 天正17年6月6日条

むま 六日

天気昼時分雨少ふり申候、則やミ申候、金川・三橋御動也、大塩あけかたに引申候、

《『伊達家日記』は伊達家の公的な日記で、当主政宗の動静等を知ることが出来る貴重な史料である》

13 政宗記 卷六摺上合戦

《(上略)六日跡の朔日に、大森より原田左馬介を米沢へつかわし、最上境と下長井の勢を差置、北条と上長井の人数を相具し、会津の大塩へ働き出、猪苗代より成実・景綱、北方辺を動くならば、末にて出合ける様にと遣し給へば、思ひの外政宗猪苗代へ乗入給ひ、摺上にて勝利を得、会津の衆敗軍と聞へけるに、あまつさへ大塩の城は引除、残て金川・三つ橋・塩川と云、三ヶ所持抱ひ、扱其外北方の侍、地下人に至る迄、皆残りなく会津に引除ける由、左馬介承り、六日の夜に入働所へ参りけるなり。

14 片倉代々記 天正17年6月6日条

六日 公金河、三橋へ御働あり、鉄炮を打懸させらるれとも、城中堅固に見ゆる間、明日御近陣在て攻抜給ふへき由被仰付、御人数引揚げ仕寄^{シヨキ}の道具支度仰付らる、今宵 公大寺前の原に御野陣也、昨日葦名殿摺上の合戦敗北に就て、大塩城も今朝明方に人数不残城を明て黒河へ引退く、

第2節 年 表

柏木城の築城から廃絶の前後、天正8年から天正17年までの会津を中心とした出来事を年表にまとめた。

| 西暦 | 年号 | 月日 | 会津領主 | 出来事 | 文献 |
|-------|------|--------------------------------|--------------------|--|--|
| 1580 | 天正8 | 2月 | 蘆名盛氏 | 蘆名盛隆・佐竹義重・白川義親、田村氏と合戦 | 金上文書『新潟県史資料編5』3201ほか |
| | | 6月 | | 蘆名盛氏、死去 | 会津若松市宗英寺所蔵蘆名盛氏坐像厨子銘 |
| | | 9月8日 | 蘆名盛隆 | 蘆名・二階堂・佐竹、佐々川において田村氏と合戦 | 『郡山市史8』306 |
| 1581 | 天正9 | 3月 | | 伊達輝宗、信夫郡杉目城に出馬して蘆名・二階堂・岩城氏と田村氏を調停する | 伊達文書『福島県史7』99-142～144 |
| | | 4月 | 蘆名盛隆 | 蘆名盛隆、佐竹義重とともに御代田城に田村氏を攻める。輝宗から調停の使者くる | 伊達文書『福島県史7』99-146 |
| | | 4月18日 | | 田村氏が今泉城ほかを二階堂氏に返還して和睦する。 | 伊達文書『福島県史7』99-152 |
| | | 7月 | | 二階堂盛義、死去。これに伴い、盛義後室と子の蘆名盛隆が二階堂家臣と領地を守ることになる | 『性山公治家録』同年7月条 |
| | | 8月 | | 蘆名盛隆、織田信長に名馬と輓轡を、野沢の地頭荒井万五郎を名代として贈る。盛隆、三浦介に任じられる。蘆名盛備が上洛、遠江守に任じられる | 『信長公記』巻14 |
| | | 10月 | | 蘆名盛隆、上杉景勝に刀を贈る。景勝、同盟を約する | 『上杉年譜』景勝巻5 上杉景勝書状 |
| | | 1月26日 | | 富田氏実、上杉景勝から堀越を与えられる | 『上杉年譜』景勝巻6 上杉景勝宛状 |
| 1582 | 天正10 | 2月 | | 上杉使者林泉寺僧宗鶴が蘆名盛隆の響応を受ける。須江光頼・金上盛満・富田氏実らと会談 | 『上杉年譜』景勝巻6 金上盛満書状 |
| | | 2月23日 | | 上杉景勝、蘆名盛隆に血判による同盟締結を求める。金上盛満、応じる意向を示す | 『上杉年譜』景勝巻6 金上盛満書状 |
| | | 2月26日 | 蘆名盛隆 | 蘆名盛隆、上杉・新発田の和睦の使者として須江光頼と松本左馬助を送る | 伊佐早文書『福島県史7』125-7・8 |
| | | 4月 | | 穴沢新右衛門俊光、地頭小荒井阿波を攻める | 『新編会津風土記』巻之62 |
| | | 4月2日 | | 蘆名盛隆、小田切弾正忠に新発田・上杉への援軍を送らないように命ずる | 伊佐早文書『福島県史7』125-9 |
| | | 4月7日 | | 新発田重家、蘆名氏に救援を乞う | 石丸本文書集『上杉家記』巻之27 |
| | | 4月12日 | | 蘆名盛隆、上杉景勝に、新発田重家の援軍要請には応じない旨を伝える | 『上杉年譜』景勝巻6 上杉景勝書状 |
| | | 5月29日 | | 滝川一益、上杉景勝に蘆名が加担しているのではないかと詰問。金上盛備が釈明 | 坂田文書『会津若松史8』507頁 |
| | | 6月2日 | | 本能寺の変 | |
| | | 8月12日 | 蘆名盛隆 | 蘆名盛隆、上杉景勝に新発田攻撃を了承する | 上杉文書『新潟県史資料編4』144-11 |
| | | 8月14日 | | 蘆名盛隆、小田切弾正忠に上杉景勝から派兵命令があっても応じないように命ずる | 『上杉年譜』景勝巻7 蘆名盛隆書状 |
| | | 9月1日 | | 蘆名盛隆、上杉に援軍を送る | 色部文書『上杉家記』巻之28 |
| | | 10月 | | 上杉景勝使僧嶋閑斎と新発田攻めを相談 | 『上杉年譜』景勝巻7 須江光頼書状 |
| | | 10月 | | 上杉景勝から血判誓書が届く | 上杉文書『福島県史7』144-13・14 |
| | | 1583 | 天正11 | 5月 | |
| 5月 | | | | 小田切弾正、上杉景勝から所領給与を約される | 小田切文書『上杉家記』巻之28 |
| 10月 | | | | 上杉景勝、蘆名盛隆に援軍を謝する | 伊達文書『福島県史7』99-161 |
| 12月 | | | | 蘆名盛隆、大内家中の混乱をおさめるために伊達氏に助勢してもらったことを謝する | 『片倉代々記』天正11年12月条所収文書 |
| 1584 | 天正12 | 2月5日 | | 蘆名盛隆、大寺清光に年頭祝儀の返礼を行い、その中で新国貞定が1月に見せた忠誠を疑う行為に対して許したことを記す | 首藤石川文書『福島県史7』中世62-13 |
| | | 2月1日 | | 田村清顕、上野結城氏に宛てて新国氏の動向を示す | 奥州文書『福島県史7』中世34-15 |
| | | 3月25日 | | 伊達輝宗、蘆名盛隆の出馬について考えのあることを某へ書状にて知らせる | 松本与大夫所蔵文書『福島県史7』126-8 |
| | | 4月6日 | | 蘆名盛隆、小田切氏・岩城常隆と田村表を攻める | 小田切氏文書『新潟県史資料編4』1663 |
| | | 4月12日 | | 岩城常隆、伊達輝宗に蘆名盛隆の出馬に関して書状を送る | 『大日本古文書伊達家之一』198 |
| | | 4月16日 | | 蘆名盛隆、上杉景勝宛の書状に、田村表からいちど帰陣して再出馬したことを記す | 伊佐早謙氏文書『新潟県史資料編5』3311 |
| | | 5月27日 | | 太田資正、保土原行藤宛の書状に、盛隆が病のため帰陣し、他の人々は陣にとどまっていることを記す | 歴代古案15-12『史料纂集歴代古案』1274 |
| | | 6月13日 | 蘆名盛隆 | 蘆名盛隆、東光寺参詣の留守に松本太郎行輔と栗村下総に黒川城を奪われる。その夜のうちに奪い返す | 『性山公治家録』天正12年6月中旬条 |
| | | 6月27日 | | 蘆名盛隆、連沼右衛門・小田切但馬守に陣立てを命じる | 佐竹式部義都人家蔵文書『茨城県史史料中世編IV』、反町英作氏所蔵文書小田切氏文書『新潟県史資料編4』1666 |
| | | 6月28日 | | 6～7月の蘆名内紛について、伊達輝宗が中津川丹波を使者として会津に派遣 | 『仙台市史資料編13』参考94 |
| | | 7月3日 | | 佐竹東義久、会津より長沼の調義に及ばれたとして、家臣に出陣を命じる。 | 秋田藩家蔵文書『茨城県史資料編IV』322頁 |
| | | 7月7日 | | 長沼城、黒川勢に包囲される | 上杉文書『福島県史7』144-15 |
| | | 7月10日 | | 上記について、伊達政宗から蘆名盛隆に書状 | 『大日本古文書伊達家文書』279 |
| | | 7月18日 | | 富田氏実、直江兼統宛に、蘆名盛隆が出陣せず、「作調儀」が行われたと記す | 上杉家文書『新潟県史資料編3』366 |
| | | 9月15日 | | 蘆名盛隆、塩松境の紛争に、小田切但馬守に軍勢を催促する | 反町英作氏所蔵文書小田切氏文書『新潟県史資料編4』1669 |
| 9月28日 | | 佐竹義重、金上盛満宛に、長沼城から蘆名盛隆が軍を引いたと記す | 金上文書『新潟県史資料編5』3205 | | |

| 西暦 | 年号 | 月日 | 会津領主 | 出来事 | 文献 | |
|-------|------|---|--------------------------------------|---|---|---------------------|
| | | 10月6日 | | 蘆名盛隆、謀殺 | 『性山公治家録』天正12年10月6日条 | |
| | | 10月9日 | | 佐竹義重、盛隆遺児亀若丸を家督に推す | 伊達政宗記録事蹟考記『会津若松史8』244頁 | |
| | | 10月13日 | | 新国貞通、高野親兼に蘆名家内紛について伊達輝宗の「御念」を謝す | 高野文書『長沼町史2』78 | |
| | | | | 元亀～天正初年に、蘆名盛氏、輝宗次男を会津に差し越すように再三懇望する。輝宗、次男成人のときは盛氏に奉公することもあるだろうと回答 | 青山文書『福島県史7』69-50 | |
| | | 10月16日 | 亀若丸 | 蘆名家家督、亀若丸に決定。佐竹義重、同盟強化のための条々を示す | 芦名文書『福島県史7』108-7 | |
| | | 10月20日 | | 伊達輝宗、政宗に家督を譲る | | |
| | | 1585 | 天正13 | 正月～3月 | 大内定綱、小浜城にこもって政宗へ出仕せず。これを蘆名の指示として、政宗、会津と合戦を決断。 | 『政宗記』巻1 |
| | | 3月18日 | | | 猪苗代盛国、政宗相統祝儀進物を届ける | 『歴代古案』1280・1278 |
| | | 4月上旬 | | | 田村清顕、伊達政宗に大内定綱の討伐を求める。 | 伊達文書『福島県史7』中世99-165 |
| | | 4月18日 | | | 伊達政宗、辺見上総守宛に、「さいかちたいれん寺分一村」の処遇について記す | 「引証記」『仙台市史資料編10』12 |
| 5月2日 | | 原田宗時、北方の柴野弾正館に潜入する。後刻、原田退去 | | 『政宗記』巻1 | | |
| 5月3日 | | 伊達政宗、松原を手に入れる | | 『政宗記』巻1 | | |
| 5月8日 | | 伊達政宗、「大塩の上の山」に進撃する | | 『政宗記』巻1 | | |
| 5月8日 | | 伊達成実、松原に来る。猪苗代盛国への調略を献策 | | 『政宗記』巻1 | | |
| | | 伊達政宗、猪苗代盛国宛に書状を出す。盛国、降伏後の条件を示す。政宗、これを了とするが、猪苗代盛種が反対する | | 『政宗記』巻1 | | |
| 6月5日 | | 伊達政宗、上杉景勝に松原在陣を知らせる | | 上杉文書『福島県史7』144-10 | | |
| 6月14日 | | 最上義光、岩城氏の須賀川出兵を賞賛。政宗の会津侵攻を非難 | | 三坂文書『福島県史7』中世14-21 | | |
| 6月28日 | | 伊達政宗、松原城代に後藤信康を置いて米沢に帰る | | 伊達政宗記録事蹟考記『北塩原村史資料編』94 | | |
| 8月27日 | | 伊達政宗、小手森城の合戦に勝利 | | 佐藤文右衛門氏所蔵文書『仙台市史資料編10』21 | | |
| 8月28日 | | 伊達政宗、小手森城の合戦に勝利したことを松原城代に伝える | | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』101 | | |
| 9月25日 | | 伊達政宗、大内定綱を攻める。大内定綱に会津の三人の家老が会津亡命をすすめる | | 『政宗記』巻2 | | |
| 11月 | | 佐竹・蘆名・二階堂・石川・白川・岩城の兵、須賀川に集結 | 『政宗記』巻2 | | | |
| | | 11月17日 | | 佐竹連合軍、畠山氏擁護のため太田原に伊達氏を攻める | | |
| | | 11月27日 | | 伊達政宗、松原城代から報告を受ける | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』102 | |
| | | 12月 | | 伊達政宗、松原城代の番替えを行い、塩森兵庫が入る | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』103 | |
| 1586 | 天正14 | 3月14日 | | 大立目宗行、松原城番として入る | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』105 | |
| 3月16日 | | | 伊達政宗、後藤信康に畠山氏との戦について知らせる | 伊達政宗記録事蹟考記二『北塩原村史資料編』108 | | |
| 5月 | | | 蘆名、相馬義胤がすすめる調停に異を唱えるが、叶わず | 瀬谷文書『白河市史5』中世968 | | |
| 6月16日 | | | 伊達政宗、後藤信康に会津に関する情報を報告するように指示する | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』109 | | |
| 7月7日 | | | 伊達・畠山に「一和」成立 | 伊達政宗記録事蹟考記二『二本松市史3』133 | | |
| 7月 | | | 関白からの停戦命令を記した小笠原貞慶書状（6月17日付）、田村清顕に届く | 青山文書『福島県史7』69-47 | | |
| 7月16日 | | | 二本松城開城、畠山氏は会津に逃れる | 留守家文書『仙台市史資料編10』43 | | |
| 7月下旬 | | | 佐竹義重への停戦命令を示した秀吉直書（5月25日付）、白川義親に届く | 白川結城文書『白河市史5』中世971・969 | | |
| 8月22日 | | | 伊達政宗、松原に同陣した留守政景に鷹の借用を願う | 根本甲氏所蔵文書『北塩原村史資料編』110 | | |
| 11月2日 | | | 佐竹義重、10月末に死去した蘆名亀若丸のことに言及 | 歴代古案15-3『史料纂集歴代古案』1265 | | |
| 1587 | 天正15 | 2月8日 | | 伊達政宗、後藤信康に「松原以下ノ御境目警固等ノ義厳シク檢察ヲ加ラル」旨を伝えたものと思われる | 伊達政宗記録事蹟考記二『北塩原村史資料編』108 | |
| 2月15日 | | | 佐竹東義久、白川義親に、白川名跡は義広の子に継がせることを約する | 白川文書『白河市史5』中世981 | | |
| 3月3日 | | 蘆名義広 | 佐竹義広、蘆名家督をつぐ | 『平姓蘆名氏之家系』 | | |
| 3月16日 | | | 伊達政宗、後藤信康に警備の弛みをとがめる | 伊達政宗記録事蹟考記二『北塩原村史資料編』113 | | |
| 5月 | | | 上杉景勝、新発田・五十公野在陣。蘆名義広、平田・金上氏を津川に配置 | | | |
| 6月8日 | | | 松原から伊達政宗に「しの子」が贈られる | 『伊達家日記』 | | |
| 6月16日 | | | 伊達政宗、松原から連行された犯罪被疑者を処罰する | 『伊達家日記』 | | |
| 6月末 | | | 後藤信康、伊達政宗に人夫派遣を要請 | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』116 | | |
| 7月1日 | | 伊達政宗、後藤信康に人夫を送ることを伝える | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』116 | | | |
| 7月 | | 松原城から逃散、伊達政宗、これを戒める | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』117 | | | |
| 8月 | | 蘆名義広、赤谷城の小田切但馬守に兵鉄砲を送る | 小田切文書『上杉家記』巻之30 | | | |

| 西暦 | 年号 | 月日 | 会津領主 | 出来事 | 文献 |
|------|------|--------|------|--|--------------------------------|
| | | 10月14日 | | 鮎貝宗信、最上義光に内通。伊達政宗、松原城に使者を送り下飯坂右衛門に七ヶ宿街道に赴くように命ずる。後藤信康、人員の補充を要請 | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』120 |
| | | 10月24日 | | 新発田重家、上杉景勝によって討たれる。蘆名氏、白川・佐竹に救援を求めるが間に合わず、会津衆多数討ち死に | 「伊達家日記」 |
| 1588 | 天正16 | 2月2日 | | 伊達政宗、松原城の警固を監察させる | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』122 |
| | | 4月 | | 伊達政宗、松原城の普請を命じる | 伊達政宗書状取意文『北塩原村史資料編』123 |
| | | 4月7日 | | 石川弾正、伊達家より離反 | 「貞山公治家記録」 |
| | | 4月18日 | | 蘆名・二階堂、片倉景綱・成実と太田原で合戦する | 『郡山市史』388 |
| | | 5月10日 | | 猪苗代盛国、猪苗代城を奪還し当主に戻る | 「伊達家日記」 |
| | | 5月11日 | | 蘆名盛隆後室、死去 | 『大日本古文書伊達家文書之一』370 |
| | | 5月19日 | | 中津川氏、「会津きたかたへくさいり」する | 「伊達家日記」 |
| | | 5月20日 | | 伊達政宗、築館城出陣。翌日、小手森城攻め | 「伊達家日記」 |
| | | 5月25日 | | 伊達政宗、大森城に退去 | 「伊達家日記」 |
| | | 5月26日 | 蘆名義広 | 蘆名義広、佐竹義重・白川義親・石川昭光と安積郡に陣する | 瀬谷文書『郡山市史8』392 |
| | | 閏5月24日 | | 中津川氏、「あいつへ草いたし」する | 「伊達家日記」 |
| | | 6月 | | 伊達政宗、後藤信康に松原口の警戒を指示 | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』125 |
| | | 6月11日 | | 伊達政宗、蘆名・白川・石川・岩城連合軍と安積郡に対陣する | 「伊達家日記」 |
| | | 7月8日 | | 伊達政宗、後藤信康に郡山合戦の戦局を知らせる | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』126 |
| | | 7月10日 | | 伊達・蘆名、和睦 | 「伊達家日記」 |
| | | 9月25日 | | 豊臣秀吉からの惣無事令が蘆名・伊達に伝えられる | 「伊達家日記」 |
| | | 10月14日 | | 蘆名義広、金上盛備を上洛させる | 『会津旧事雑考』 |
| | | 11月7日 | | 伊達政宗、松原城番手新田義綱の労をねぎらう。城代後藤信康に増員要請に応じる努力を続けることを伝える | 『仙台市史資料編10』340 |
| 1589 | 天正17 | 1月14日 | | 片倉景綱、富田氏実が松原城に進物を贈ってきたこと伊達政宗に知らせる | 針生寅次郎氏所蔵片倉家文書『北塩原村史資料編』中世編年128 |
| | | 2月25日 | | 伊達政宗、片平親綱に内応の首尾によっては安積郡富田・只野などを与えると記す | 政宗君記録引証八『郡山市史8』中世428 |
| | | 2月25日 | | 伊達政宗、大内定綱が横沢三郎の調略に成功したことについて、今後もうまくいけば安子島を与えると記す | 伊達文書『福島県史7』中世99-210 |
| | | 2月 | | 蘆名義広、上杉景勝とのあいだに和睦を結ぶ | 佐竹文書『福島県史7』143-49 |
| | | 3月20日 | | 伊達政宗、鬼庭綱元に、白川義親が内密の話があると語ってきたことを記す | 巨理神社文書『仙台市史資料編10』394 |
| | | 3月22日 | | 猪苗代盛国、伊達政宗に浜田景依を通じて「入魂」の意を伝える（原田宗綱も3月24日に知らせる） | 歴代古案15-16『史料纂集歴代古案』1278 |
| | | 3月23日 | | 蘆名勢二隊、須賀川出陣。伊達政宗、これを気にかける | 政宗君記録引証八『仙台市史資料編10』413 |
| | | 3月24日 | | 石田三成、蘆名義広の上洛をうながす | 『福島県史7』126-27 |
| | | 5月4日 | | 伊達政宗、安子島城を攻め落とす | 「政宗記」巻六 |
| | | 5月5日 | | 伊達政宗、高玉城を攻め落とす | 登米懐古館所蔵登米伊達家文書『仙台市史資料編10』420 |
| | | 5月7日 | | 蘆名義広、御代田城を攻める | 嶺崎家文書『仙台市史資料編10』422 |
| | | 5月11日 | | 伊達政宗、後藤信康が松原口の状況を知らせてきたのへ返礼 | 伊達政宗書状『北塩原村史資料編』130 |
| | | 5月23日 | | 大内定綱、伊達政宗に宛て、蘆名が会津に引き上げ、佐竹義重が蘆名に出馬しないため、義広を佐竹に返すべきだという蘆名家中の状況を記す | 「貞山公治家記録」 |
| | | 5月27日 | | 佐竹義重・蘆名義広、須賀川に出陣 | 「貞山公治家記録」 |
| | | 5月28日 | | 三蔵軒、猪苗代盛国に会津と手を切るように記した伊達政宗書状を渡す | 「貞山公治家記録」 |
| | | 6月1日 | | 三蔵軒、猪苗代盛国の応諾の返答を持ち帰る | 伊達文書『福島県史7』中世99-218 |
| | | 6月2日 | | 伊達政宗、猪苗代盛国に松原口から援軍を送ることを知らせる | 「伊達天正日記」 |
| | | 6月3日 | | 蘆名義広、黒川城に戻る | |
| | | 6月5日 | | 摺上の合戦 | |
| | | 6月6日 | | 柏木城から兵、退く | 「伊達天正日記」 |
| | | 6月10日 | | 蘆名義広、黒川城を出る | 茂庭文書『仙台市史資料編10』452 |
| | | 6月13日 | 伊達政宗 | 伊達政宗、黒川城入城 | |
| | | 6月18日 | | 伊達小次郎、松原・大塩を経由して黒川城に着く | 「伊達天正日記」 |

(※高橋明2007・2009から作成)